

放射線(ガンマー線)量測定結果

測定者：浅見靖仁、高須裕彦（一橋大学大学院社会学研究科フェアレイバー研究教育センター）

場所：一橋大学国立キャンパス 測定日：2011年6月29日 天気：晴れ 測定器：「はかるくんメモリー」（文部科学省）

連絡先：フェアレイバー研究教育センター E-mail: info@fair-labor.soc.hit-u.ac.jp

6月8日に続き、6月29日に国立キャンパス周辺の2回目の測定を行いました。今回は前回数値が高かった場所と前回測定していない場所を中心に測定しました。測定結果は下表の通りです。前回同様、雨水の溜まりやすい場所（排水溝や排水口、建物の軒下、落葉のたまっている場所など）は、他の場所と比べて高い放射線量が測定されました。ただし、地上5センチで計測すると高い数値が出た場所でも、地上1mで計測するとそれほど高い数値にはなりません。なお、三多摩地域の自然放射線量は $0.05\mu\text{Sv/h}\sim 0.07\mu\text{Sv/h}$ 程度と推計されます。マーキュリー・タワー入口の外壁の放射線量が少し高かったのですが、これは外壁に使われている岩石の自然放射線によるものかも知れません。

測定単位： $\mu\text{Sv/h}$ （毎時マイクロシーベルト）※水色表示は $0.10\mu\text{Sv/h}$ 以上の数値※黄色色表示は $0.20\mu\text{Sv/h}$ 以上の数値

場所	高さ (cm)	線量[単位： $\mu\text{Sv/h}$]	
マーキュリータワー入口外（外壁から30cmくらい離れる）	100（アスファルト）	0.100	花崗岩の自然放射線か？
マーキュリータワー入口外（外壁から30cmくらい離れる）	5（アスファルト）	0.103	花崗岩の自然放射線か？
マーキュリータワー入口外壁（花崗岩？）に接触	150	0.138	花崗岩の自然放射線か？
マーキュリータワー前自販機北側雨どいそば	100（土）	0.098	6月8日は0.082
マーキュリータワー前自販機北側雨どいそば	5（土）	0.116	6月8日は0.138
国際研究館と東1号館の間の道路の東1号館側のツツジ	樹上	0.113	6月8日は0.106
国際研究館と東1号館の間の道路の東1号館側北東の角の排水口	100	0.093	6月8日は0.096
国際研究館と東1号館の間の道路の東1号館側北東の角の排水口	5	0.237	写真1（6/8は0.246）
東2号館南側入口前	5（マット上）	0.112	6月8日は0.097
東1号館南東側排水口そば	5（土）	0.168	地上100cmは0.090
如水ゲストハウス庭南側倉庫前	5（コケ・土）	0.076	地上100cmは0.067
如水ゲストハウス自転車置き場雨樋	5（土）	0.121	地上100cmは0.063
如水ゲストハウス入口排水溝	5	0.049	地上100cmは0.068
あさひふれあい広場	100（土）	0.072	
あさひふれあい広場	5（草地）	0.066	
あさひふれあい広場倉庫軒下	5（土）	0.083	
ラグビー場（一橋大学）人工芝中央	5	0.078	地上100cmは0.066
ラグビー場（一橋大学）南側ベンチそば	5（落葉）	0.130	地上100cmは0.084
ラグビー場（一橋大学）クラブハウス前広場	100	0.058	
東本館南側入口	100	0.072	
東本館正面入口東側	5	0.123	地上100cmは0.063
東本館正面入口排水口	5	0.143	地上100cmは0.063
兼松講堂正面入口階段	5	0.113	
兼松講堂南西角雨樋	5	0.119	
本館と法人本部棟の間の排水口	5	0.072	
本館東側自転車置き場	5（コケ・土）	0.097	
職員集会所入口の左側の軒下	5（コケ・土）	0.339	写真2 100cmは0.085
職員集会所入口	100	0.059	
第1講義棟東側	5（コケ・土）	0.075	
卓球場雨樋	5（土）	0.252	
組合事務室前	1m（アスファルト）	0.062	
佐野書院北側雨樋	5	0.139	
佐野書院入口排水溝中央部（金属製の格子の上）	0	0.093	
佐野書院入口排水溝左端（金属製の格子の上）	0	0.108	

写真1→
国際研究館と東1号館
の間の道路の東1号館
側北東の角の排水口



写真2→
職員集会所入口の
左側の軒下

